

環境まちづくり 緑化班



緑化班は市民参加型の緑化活動を通じ、市民と環境への問題意識を共有する（草の根運動）と共に、「より豊かなくにたちの街」につなげていくことを目指し、活動します。

例え小さな一歩だとしても、我々人間が、美しい環境のもとでの生活を取り戻そうとする、そのまちづくりの意識は、ひいては環境問題への大いなる一歩ともなります。



前回の活動

- 一橋大学の生協の屋上緑化の実現を目指して、具体的に提案書を作成し、学生課・施設課に働きかけ。
⇒企画を充実・具体化させ、文書化
- 地域リソースの調査
⇒リソースの人たちの話をうかがう
- 2005年春に具体的行動(ぶどう棚作り・苗植えetc)を起こしたい。
⇒大学へ働きかけ⇒ 実施許可降りず

屋上緑化手法

設置方法は至極単純です。「安くて簡単、楽しくておいしい」屋上緑化の方法です。



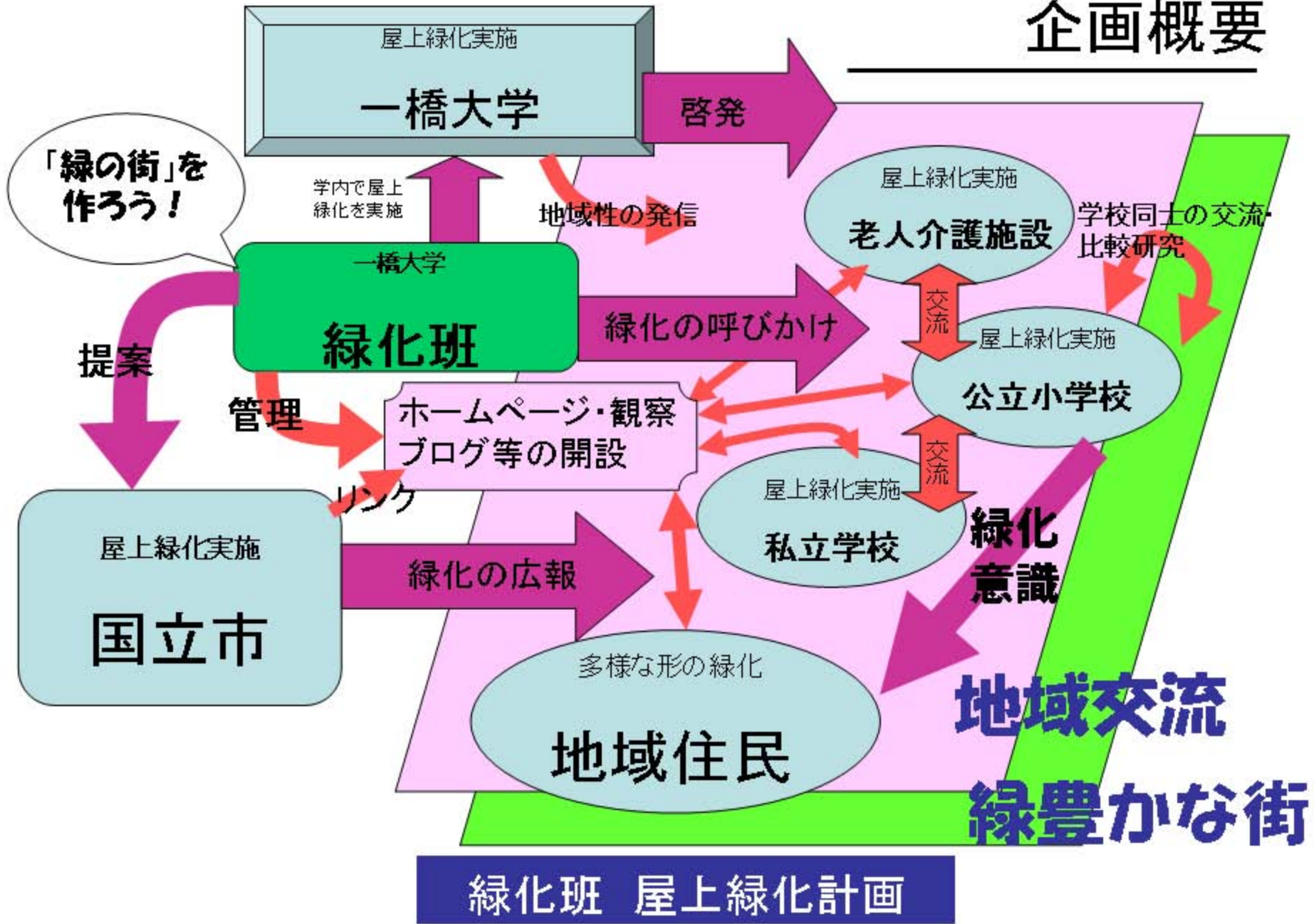
①既存のフェンス等を活用し、鉄線・バラ線を格子状に張り、棚を作ります。足りない柱や高さ不足は、新たに棒をとりつけることで対処します。また、既存のフェンス等には補強を行います。



②大きめの鉢(一苗につき1M四方)を作り、ブドウ苗等を植えます。3~5M四方ごとに竹・木で棚を補強して作業は完了です。葡萄は育ちが早く、夏場にはたくさんの葉が茂り、葡萄が実ります。

緑化班 屋上緑化計画

企画概要



「緑の街」を作ろう!

屋上緑化実施
一橋大学

啓発

学内で屋上緑化を実施
一橋大学
緑化班

地域性の発信

緑化の呼びかけ

屋上緑化実施
老人介護施設

学校同士の交流
比較研究

屋上緑化実施
公立小学校

屋上緑化実施
私立学校

提案
管理
屋上緑化実施
国立市

ホームページ・観察
ブログ等の開設

リンク

緑化の広報

多様な形の緑化
地域住民

緑化意識

地域交流

緑豊かな街

緑化班 屋上緑化計画

リソースの方々による意見・指摘

- ・屋上緑化を国立で行なう意味がない。
- ・国立らしさが見受けられない。
- ・大学で行なう意味がない。
- ・市民の入り込む隙間がない。
- ・ブドウの栽培方法が無計画。
- ・企画が理想的過ぎて現実的ではない。
- ・企画が魅力的ではない。
- ・ブドウである意味がない。
- ・研究教育の場である大学の本義を損なわせかねない。
- ・市民を大学へ連れてくるのではなく、学生が市民の中へと入っていくべきだ。 Etc,,,

今後の緑化班(予定)

- 活動場所

⇒今年度活動できる場所を再検討(大学構内を断念)

- 栽培作物

⇒ブドウで行なう場合は、栽培方法がある程度把握する必要。

ex) ブドウ農家への研修や借楽園の見学等

⇒ブドウ以外の作物についても再検討し、幅のある提案をしていけるようにする。

ex) キウイフルーツ、ブルーベリー等

- 国立らしさ

⇒国立で今あるニーズに応えることでカバー。

- 経費面

⇒ある程度自己負担は免れないが、グリーンマーケット等イベント開催などによる利益を経費に回すことができる。